

評価シート

耐震	部位	壁	分類	通風・採光型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	W-019c
<b>評価技術名称</b> 透光型耐力壁「パンチくん」					<b>連絡先</b> 旭ステム外装株式会社 <a href="http://www.asahitostem.co.jp">http://www.asahitostem.co.jp</a> 〒135-0001 東京都江東区毛利 1-19-10 江間忠錦糸町ビル6階 電話 03-5638-5111 Fax 03-5638-5118			
概要	<b>技術概要</b> 厚さ1.6mmのパンチングメタルを、両側の柱に直接あるいは枠材を介して専用ビスで留め付ける工法。内壁を対象とし床、天井間のみで補強する工法。大壁、真壁に納まるタイプがある。							
	<b>技術の特徴</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>採光・通風が可能。</li> <li>仕上げが不要。</li> </ul>					<b>コスト</b>		
						サンプル構面	47,556 円/kN	
					設計見積り例	—		
<b>公的機関による技術評価・性能証明</b> 機関名 (一財)日本建築防災協会 評価番号 DPA-住技-57-1 評価書の有効期限 2024年3月2日					<b>実験実施機関</b> 岐阜県立森林文化アカデミー <b>その他</b>			
仕様	<b>適用範囲</b>				<b>写真・図</b> 			
	構法	木造在来軸組工法、伝統的構法						
	規模	3階建て以下、500㎡以下、横架材間距離2050mm以上2930mm以下						
	基礎、地盤	特に無し						
	適用部位	室内						
	その他	柱芯間距離 910mm、真壁角管タイプのみ910mmに加え 950~985mmも対応						
	<b>主要構成部材の仕様</b>							
	面材:スチール							
	角管:アルミ							
	<b>耐震補強性能</b>							
壁基準耐力(抜粋)								
柱芯間距離:910mm、柱径:105角以上								
タイプ	壁基準耐力	壁基準剛性						
真壁角管	7.8kN/m	1010kN/rad/m						
真壁木枠	6.7kN/m	960kN/rad/m						
大壁	5.4kN/m	710kN/rad/m						
<b>設計方法</b>								
① 柱接合部による低減:対応方法を記載する 仕口補強により、許容引張耐力 3kN 以上を満たし、接合部の仕様に応じた耐力低減を行う ② 損傷、腐朽等がある場合は交換する								
<b>施工者指定</b> 当社が主催する講習受講者、または当社から直接説明を受けた者								
<b>その他</b> 精密診断法1による評価が可能								

別紙:壁基準耐力・壁基準剛性 一覧

耐震	部位	壁	分類	通風・採光型	有効期限	2026年3月31日	評価番号	W-019c	
評価技術名称 透光型耐力壁「パンチくん」					連絡先 旭システム外装株式会社 <a href="http://www.asahitostem.co.jp">http://www.asahitostem.co.jp</a> 〒135-0001 東京都江東区毛利 1-19-10 江間忠錦糸町ビル6階 電話 03-5638-5111 Fax 03-5638-5118				
壁基準耐力・壁基準剛性 一覧									
仕 様		柱間モジュールmm	パンチング高さmm	柱サイズmm	壁基準耐力 kN/m	壁基準剛性 kN/rad./m			
	A.真壁角管タイプ	A-1:910	A-1-1 :2270	①105以上 ②90以上105未満	7.8 7.5	1,010 940			
		A-2:950~985	A-2-1 :2270	①105以上 ②90以上105未満	7.6 7.3	1,000 930			
	B.真壁木枠タイプ	B-1:910	B-1-1 :2300	①105以上	6.7	960			
				②90以上105未満	5.4	780			
	C.大壁タイプ	C-1:910	C-1-1 :2300	①105以上	5.4	710			
				②90以上105未満	4.6	540			
	<p>※以前は(一財)日本建築防災協会の認定内容をそのまま掲載しておりましたが、現行部材では対応できないモジュール寸法や高さが掲載されておりました。部材設定に合わせた内容に切り替えると同時に誤解を招きましたこととお詫び申し上げます。</p>								